

| | | | |
|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------------------|
| 1. 科目名 (単位 数) | 心理学入門 (2単位) | 3. 科目番号 | GEBS1110 |
| 2. 授業担当教員 | 岡本 香 | | |
| 4. 授業形態 | 講義・演習(ディスカッションを含む) | 5. 開講学期 | 春期 |
| 6. 履修条件・ 他科目との関係 | 心理学系科目の中で最初に履修することが望ましい。 | | |
| 7. 講義概要 | 心理学は、人の行動や感情を科学的に研究することを通して、人間を理解しようとする学問である。本科目では、心理学という学問の入門的な学習として、心理学への興味を高めるために、歴史や特徴を背景とした心理学的思考法を体験的に学習する。また、心理学の主要な分野における最も基礎的な概念と理論に幅広くふれながら、理解する。 | | |
| 8. 学習目標 | 1.心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができる。 2.心理学が生まれてきた歴史を概観し、説明することができる。 3.心理学的な思考方法を身につけ、心理学系専門科目を学ぶための基礎を身につける。 4.世間一般の心理学のイメージと、学問としての心理学との違いを理解し、説明することができる。 | | |
| 9. アサインメント (宿題) 及びレポ ート課題 | 教科書の該当箇所を事前に読んでくることをアサインメントとします。また授業内で行う課題について、時間内に終わらなかった場合は、その課題をアサインメントとします。 小テストと期末課題については、授業の進み具合と受講生の理解の程度に応じて適宜提示するテーマに関して、学習成果を確認するものとします。 | | |
| 10. 教科書・参考 書・教材 | 【教科書】藤本忠明・栗田喜勝・瀬島美保子・橋本尚子・東正訓(著)『ワークショップ心理学』ナカニシヤ出版。 | | |
| 11. 成績評価の規準 と評定の方法 | ○成績評価の規準 1.心理学への興味を高め、後の心理学系専門科目の学習につなげることができたか。 2.心理学が生まれてきた歴史を概観し説明することができたか。 3.心理学的な思考方法を身につけ心理学系専門科目を学ぶための基礎が身についたか。 4.世間一般の心理学のイメージと学問としての心理学との違いを理解し説明することができたか。 ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業におけるグループ発表等への積極的参加、授業のまとめ等のアサインメント)50%、試験(小テスト等を含む)50%として算出した合計得点により成績評価を行う。 | | |
| 12. 受講生への メッセージ | 15回という限られた講義期間の中で、幅広い領域について触れることから、毎回の講義は、密度の濃いものになります。したがって、不用意な欠席、遅刻、早退、私語、居眠り等があると、授業内容の理解が困難になることが予想されます。そのような態度の学生については、授業態度点において減点します。またZoomによるオンライン授業において、教員からの呼びかけに事情の説明なく反応しない学生についても、授業態度点において減点します。 | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知します。 | | |
| 14. 授業展開及び授業内容 | | | |
| 講義日程 | 授業内容 | 学習課題 | |
| 第1回 | オリエンテーション 心理学とはなんだろう | 事前学習 | 教科書第1章第1節を読み、心理学とは何かを考えること |
| | | 事後学習 | オリエンテーションの配付資料を再読すること |
| 第2回 | 心理学の歴史1：ヴント以前 | 事前学習 | 教科書第1章第2節を読むこと |
| | | 事後学習 | 心理学の歴史1の配付資料を読んで復習すること |
| 第3回 | 心理学の歴史2：ヴント以降 | 事前学習 | 教科書第1章第2節を読むこと |
| | | 事後学習 | 心理学の歴史2の配付資料を読んで復習すること |
| 第4回 | 知覚心理学：見えの不思議 | 事前学習 | 教科書第2章第1節を読むこと |
| | | 事後学習 | 知覚心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第5回 | 学習心理学：学習の不思議 | 事前学習 | 教科書第2章第2節を読むこと |
| | | 事後学習 | 学習心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第6回 | 認知心理学：記憶の不思議 | 事前学習 | 教科書第2章第3節を読むこと |
| | | 事後学習 | 認知心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第7回 | 知覚心理学・学習心理学・認知心理学のまとめ | 事前学習 | 知覚心理学、学習心理学、認知心理学についての配付資料を読んで復習をすること |
| | | 事後学習 | これまでの復習をすること |
| 第8回 | 発達心理学：発達を心理学しよう | 事前学習 | 教科書第4章を読むこと |
| | | 事後学習 | 発達心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第9回 | 社会心理学：対人関係を心理学しよう | 事前学習 | 教科書第5章を読むこと |
| | | 事後学習 | 社会心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| | 社会心理学：人を動かす心理学をしよう | 事前学習 | 教科書第6章を読むこと |

| | | | |
|------|------------------------------|------|----------------------------------|
| 第10回 | | 事後学習 | 社会心理学についての配布資料を読んで復習すること |
| 第11回 | 発達心理学・社会心理学のまとめ | 事前学習 | 発達心理学および社会心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| | | 事後学習 | これまでの復習をすること |
| 第12回 | 臨床心理学：こころの健康を心理学しよう1 適応 | 事前学習 | 教科書第8章第1節を読むこと |
| | | 事後学習 | 臨床心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第13回 | 臨床心理学：こころの健康を心理学しよう2 ストレス | 事前学習 | 教科書第8章第2節を読むこと |
| | | 事後学習 | 臨床心理学についての配付資料を読んで復習すること |
| 第14回 | 臨床心理学のまとめ | 事前学習 | 臨床心理学についての配付資料を読んで復習をすること |
| | | 事後学習 | これまでの復習をすること |
| 第15回 | 総括 心理学を役立てる | 事前学習 | 教科書第10章を読むこと |
| | | 事後学習 | 総括の配付資料を読んで復習すること |
| 期末試験 | | | |